

# 「協働による授業づくり」の推進



自分一人で授業づくりをしていると、「考え、議論する道徳」の授業ができていないのか、不安になります。

学校全体で**協働による授業づくり**を行うことで、教師同士が学び合うことが日常的になり、道徳科の理解の深まりや指導力の向上につながります。



## 協働による授業づくりの良さ




- 道徳科の理解の深まりや授業の質の向上につながる。
- 児童生徒の変容を複数の目で見取り、評価に対して共通認識を持つことができる。
- 指導の系統性について考えることができる。
- 異なる立場（学年、教科等）からの意見が、授業者の新たな気づきを促し、指導力が向上する。

学校全体で**共通の視点**をもって授業づくりに取り組むことが大切です。ぜひ「サポートブック」を使って、共通理解を図りながら協働による授業づくりを行ってみてください。



## 1 サポートブックを活用した校内研修

学校の実状に合わせて、**5分コース**、**30分コース**、**60分コース**の3種類の研修を、いろいろな組合せで行うことができます。

種類	内容	ねらい
<b>5分コース</b> 「ワンポイント研修」  p 98～101	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳科の基本的な理論等の共通理解を図る。</li> <li>○ 道徳科の用語の意味を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して、継続して研修を行うことによって、道徳科の授業に対して意識の向上を図る。</li> <li>・理論編と演習編を組合せながら行うことによって、理論を知った上で実践に生かす。</li> </ul>
<b>30分コース</b> 「実践ミニ研修」  p 102～103	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳科の基本的な理論等の共通理解を図る。</li> <li>○ 具体例を基に、授業構想や評価についての理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めに検討・確認したいこと、学期の途中で確認したいことを共通理解しながら、道徳科の授業を進める。</li> <li>・「サポートブック」の内容と実際の授業を結び付けて考える。</li> <li>・学校全体の評価の捉えの統一を図る。</li> </ul>
<b>60分コース</b> 「授業づくり研修」  p 104～105	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 協働による授業づくりを行い、実践的指導力向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後行う授業を構想したり、模擬授業を行ったりすることで授業を見る視点について共通理解を図り、授業実践力を伸ばす。</li> </ul>